

執筆者紹介

入江 伸 Irie Shin

1955年生まれ。慶應義塾大学メディアセンター本部課長。データベース。「MLA」「電子学術書」「図書館システム」

永崎研宣 Nagasaki Kiyonori

人文情報学研究所首席研究員。人文情報学。『日本の文化をデジタル世界に伝える』“Kiyonori Nagasaki, Contexts of Digital Humanities in Japan” “Towards a Digital Research Environment for Buddhist Studies”

下野正俊 Shimono Masatoshi

1963年生まれ。愛知大学文学部教授。ドイツ哲学。“Kant’s Conception of Internal Purposiveness Revisited: An Examination of a ‘Latent’ Antinomy of Teleological Power of Judgment” 「新しい教養論の構築に向けて—方法論的序説(1)」 「存在観の変遷について—西洋的知の根源と大学」

内田慶市 Uchida Keiichi

1951年生まれ。関西大学外国語学部教授。中国語学・文化交渉学。『近代における東西言語文化接触の研究』『文化交渉学と言語接触—中国言語学における周縁からのアプローチ』『北京官話全編の研究』

宮川 創 Miyagawa So

1989年生まれ。グッティンゲン大学ドイツ研究振興会特別研究領域1136研究員。コプト学・エジプト学・文献言語学。“The ang- Morphs in Coptic and their Grammaticalization in Later Egyptian” “Building Linguistically and Intertextually Tagged Coptic Corpora with Open Source Tools”(共著) “Optical Character Recognition of Typeset Coptic Text with Neural Networks”(共著)

齊藤正高 Saito Masataka

愛知大学非常勤講師。中国思想。「偽古文

尚書の「賢」と「官」— χ^2 値による語彙偏差の数量化を通して」「「老子」の聖人と玄德—4gram 遷移ネットワークに見る概念の媒介構造」「物理小識」の脳と心」

楊 曉捷 Yang Xiaojie

1959年生まれ。カルガリー大学教授。日本中世文学・日本語教育。『鬼のいる光景』『デジタル人文学のすすめ』

福林靖博 Fukubayashi Yasuhiro

1978年生まれ。国立国会図書館電子情報部電子情報企画課課長補佐。図書館情報学。「敦煌文献—シルクロードのタイムカプセル」「国立国会図書館によるベトナム国会図書館支援の取組」「Library of the Year とは何か—10年間の経緯を振り返って」

王 一凡 Wang Yifan

1989年生まれ。東京大学教育学研究科博士課程、一般財団法人人文情報学研究所。漢訳仏典、文字論。“Development of Glyph Image Corpus for Studies of Writing System” 「グラフデータベースによる文書リポジトリ統合管理システムの設計」 “‘Latin Script’ Revisited: Issues on Identification of a Script”

下田正弘 Shimoda Masahiro

東京大学教授。仏教学、人文情報学。『涅槃経の研究—大乘経典の研究手法試論』『新アジア仏教史』全15巻、『シリーズ大乘仏教』全10巻

加藤好郎 Kato Yoshiro

1949年生まれ。愛知大学文学部・日本文学文理学部・明治大学文学部講師。図書館・情報学。『大学図書館経営論』『書物の文化史—メディアの変遷と知の枠組み』(共編) 「欧文図書群の革新的研究手法の構築およびそれを用いた東アジア間の総合的研究」

中津俊樹 Nakatsu Toshiki

日本現代中国学会・アジア政経学会会員。中国現代史。「紅衛兵世代における読書動

向について一文化大革命以前を中心に」「50周年」「40周年」そして「35周年」—世界が見た「2016年」「中華人民共和国建国期における「レジオマリエ」を巡る動向について」

津守 陽 Tsumori Aki

1976年生まれ。神戸市外国語大学中国学科准教授。中国近現代文学。「傍観者」の詩論—沈從文の評論から新文学の「詩化／散文化」を考える」「沈從文のフェティシズム—髪のエクリチュールと身体化される〈都市／郷土〉」「におい」の追跡者から「音楽」の信者へ—沈從文『七色魘』集の彷徨と葛藤」

藤原貞朗 Fujihara Sadao

茨城大学人文社会科学部教授。美学・美術史。『オリエンタリストの憂鬱—植民地主義時代のフランスの東洋学者とアンコール遺跡の考古学』『山下清と昭和の美術—「裸の大將」の神話を超えて』(共著)「近代日本人はいかにして中国古美術研究へと向かったのか?—古銅器の蒐集と研究を中心に」

石田卓生 Ishida Takuo

1973年生まれ。愛知大学東亜同文書院大学記念センター研究員。近代日中交流史・中国語教育史。『東亜同文書院の教育に関する多面的研究』『戦前日本の中国語教育と東亜同文書院大学』『華語萃編』初集にみる東亜同文書院中国語教育の変遷」

三好 章 Miyoshi Akira

1952年生まれ。愛知大学現代中国学部教授。中国近代史、中華人民共和国教育史。『アジアを見る眼—東亜同文書院の中国研究』(編著)『真宗大谷派淨圓寺所蔵藤井靜宣関連資料 目録と解説』(監修)『中国21』Vol. 48 特集：いまさら文革、いまなお文革、いまこそ文革(特集担当)

木島史雄 Kishima Fumio

1960年生まれ。愛知大学現代中国学部准教授。中国中世学術史。「パレルゴン操作による鑑賞の楽しみ—伏生授經圖受容の研究(その三)」「伏生授經圖受容の研究」「伏生授經圖受容の研究—鑑賞者は繪畫作品をいかに楽しんだか—タイトル・主題・著録篇」

学会通信

◎学会員活動(2019年4月～2019年9月)

川村亜樹

『ソール・ベローともう一人の作家』(共著、彩流社、2019年8月)

『トランスパシフィック・エコクリティシズム—物語る海、響き合う言葉』(共著、彩流社、2019年9月)

“Realism in the Samurai Space” Presentation, Literature/Film Association Conference, at Portland State University, Portland Oregon USA, Sep. 12 2019.

黄 英哲

学会発表「May Fourth and its Contin-

uation in Taiwan」(国際シンポジウム「May Fourth 100: China and the World, 1919-2019」2019年4月13日、ハーバート大学主催)

共著『五四@100:文化・思想・歴史』(台湾:聯経出版、2019年4月)

小論「台湾から『五四』をみる」(『植民地文化研究』18号、2019年7月、植民地文化学会)

砂山幸雄

「(動向) 思想」(『中国年鑑2019』明石書店、2019年5月)

「見失われた「1989年」—ポスト冷戦期中国の思想文化動向(1989-2012年)」(『思想』2019年10月)

編集後記——思い返せば、学部専門課程の最初のコマは、先輩諸氏に連れられて百万遍の中国専門書店に足を運び、「十三經注疏」を購入することであった。臺灣・藝文印書館刊行の阮元本の縮刷判洋装八冊であった。今の学生さんは『佩文韻府』を出典調べに使うらしいですねと嫌味を言われながら、ハーバード燕京の「十三經引得」を利用した。それからはや四十年になる。中国文献の世界も大きく変わって、電子データの時代になった。紙の時代なりの本の読み方も論文の書き方も覚えたが、文献がデジタル化したことに頭が追いついていない。何か新しいことができそうだと思うものの、実際には足を踏み出せない。本特集は、こんな私と意識を共有する皆様に役立てばと考えて編集した。自身で手はつけられなくとも、何が可能になり、どこまで行きそうなのかは、知っておいてよい。もちろんデジタル化によって何が抜け落ちるのかを知ることも重要である。両者を実感できるのは、端境に立つ者の特権である。(木島史雄)

投稿原稿募集 新しい発想から現代中国をめぐる諸問題に切り込む、気鋭の論考を広く募集します。現代中国に関するテーマであればジャンルは問いません。むしろ、既存の学問のジャンルを打ち破るような斬新な発想を期待します。①未発表のものに限る ②論説、研究ノート、報告・ルポ、資料等=50枚程度、書評=20枚程度、エッセイ=10枚程度(400字詰原稿用紙換算) ③ワープロソフトで作成した原稿の打ち出し2部およびデジタルデータを提出。デジタルデータはeメールでの送信も可。

〈原稿送付先〉愛知大学現代中国学会 E-mail: china21@ml.aichi-u.ac.jp

投稿規程の詳細は現代中国学会までお問い合わせ下さい。採否は編集委員会の査読を経て決定し、採用にあたっては規定により薄謝を進呈します。なお、応募された原稿は採否にかかわらず返却いたしません。

中国21編集委員会

〔編集長〕松岡正子 阿部宏志 梅田康子 木島史雄 金 湛 薛 鳴 三好 章

愛知大学現代中国学部 <http://www.aichi-u.ac.jp/college/chi.html>

中国21 Vol.51

特集 デジタル資料と 学術の未来

2019年12月25日発行

ISBN 978-4-497-21922-0 C3000

編 集	愛知大学現代中国学会 名古屋市千代田区平池町4-60-6 〒453-8777 Tel. 052-564-6128 Fax. 052-564-6228
発行人	砂山幸雄
発売元	株式会社 東方書店 東京都千代田区神田神保町1-3 Tel. 03-3294-1001
制作印刷	株式会社 あるむ 名古屋市千代田区千代田3-1-12 Tel. 052-332-0861